

「肺がん VMAT における放射線治療計画の効率化に関する研究-アイソセンタ位置の相違による放射線治療計画への影響-」に関するお知らせ

このたび、当院で肺癌の放射線治療を行った患者さんの放射線治療計画のデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2017年4月1日から2022年3月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、非小細胞肺癌と診断され、放射線治療を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

肺癌の放射線治療計画は、腫瘍中心で立案することが多いです。末梢に肺癌が存在する場合、治療装置と患者さんが接触する可能性があるため、接触リスクの高い患者さんは放射線治療計画の段階で実際に来院していただき、接触の有無を確認します。放射線治療計画を体厚中心で立案し、腫瘍中心の計画と差がないのであれば体厚中心の治療計画を立案することで、患者さんと接触リスクの少ない方法となります。本研究では、その治療計画の立案方法を提案することを目的としました。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年9月30日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年12月31日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科において、研究責任者である高橋健夫が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

非小細胞肺癌と診断された患者さんの放射線治療を実施した際に生じた放射線治療計画のデータおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 高橋 健夫（研究代表者）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 新保宗史
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 山野貴史
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 水野統文
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 早川豊和
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 惣田梨加奈
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 齊藤美音
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 金森信祐
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 町田史晴
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 松本優介
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 森田大也
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 梅田真梨子
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 上野周一
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 内海暢子
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 畑中星吾
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 天沼修人

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長

5. 試料・情報の提供方法等について

なし

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 放射線腫瘍科 天沼修人（担当者氏名）

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3511（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：肺がん VMAT における放射線治療計画の効率化に関する研究-アイソセンタ位置の相違による放射線治療計画への影響-

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター放射線腫瘍科 高橋 健夫